

令和3年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

横路中学校区 校番 7 学校名 呉市立横路小学校

<p>a 学校教育目標</p>	<p>自分を育て 道を拓く ～主体的に行動し、ともに高まり力を 尽くす児童の育成～</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>《ビジョン》 希望を与える学校の創造 ・勉強がわかる、学校が楽しい(児童) ・確かに子供が成長している(保護者) ・自慢の子供が育っている(地域)</p>
-----------------	---	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点</p>	<p>中期経営目標3年目となった昨年度は、新型コロナウイルス感染症により本校が取り組んできた学習形態の変更を余儀なくされた。また、他者との接触や運動の仕方も制約され、「知」「徳」「体」それぞれに新たな課題が生じることとなった。今後のwithコロナ期における教育活動を考えるとき、十分に達成できなかった昨年度の中期経営目標を踏襲しつつも新たな取組を構築し、新しい生活様式における教育活動を推進していかなければならない。 本年度は、新たな考え方のもと小中一貫教育の推進を充実させるとともに、論理的な思考力の育成と学級経営を基盤とした社会性の育成及び健康面・体力面の向上を着実に図っていくことを重点目標とする。</p>
---	--

<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>知識及び技能 知識・技能</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 論理的思考力</p>	<p>学びに向かう力・人間 主体性・共感力</p>
--------------------	-------------------------	--------------------------------	-------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	10月			2月		
						i	j	k	i	j	k
						達成値	達成度	評価	達成値	達成度	評価
★ ★ ★ 確 かな 学 力	① 主体的な学びを 通して児童の学 習意欲を高めるこ とで、児童の基礎 学力の定着を図 る。	① 論理的思考力の 育成	○「横路中学校区授業モデル」を 活用した授業改善 ○基礎学力の定着と表現力を高め る取組 ・チャレンジタイム、思考スキルタイ ムを計画的に活用する。 ○ICTを有効に活用し、授業を工夫 改善していく。	・単元末テストにおける 通過率80%以上の 児童の割合	国語 85%						
						算数 80%					
★ 豊 か な 心	② 積極的な生徒指 導を通して、自ら を律しつつ他人と 協調できる豊かな 人間性を育てる。	② 社会性の育成 共感的人間関係を基盤 とした「学級づくり」と積極 的な生徒指導の推進を 図る。	○積極的な生徒指導に関する取組 ・「あいさつレベル5」を各教室に掲示し たり、委員会活動を中心とした挨拶運動 を実施したりして、児童の挨拶への意識 を高めていく。 ・全校朝会や給食放送で生活目標につ いて呼びかけ、意識付けを行う。(生活 目標に「挨拶・返事ができる」「時間を守 る」「掃除ができる」に関わる目標を入れ る。) ・教師による見回り、放送などで上手 に掃除できている姿を評価することによ り、「もくもくそうじ」の実践意欲を高め る。 ・月ごとの生活目標を振り返りを行う(児 童の自己評価)。優秀な学級については 放送等で紹介したり、表彰したりするな ど評価する。 ○「学級づくり」に関する取組 ・日頃から人間的な触れ合いを大切に し、学級経営の充実を図る。 ・他者と協力したり、個人として努力し たりしながら、自主的実践的に取り組む ことにより、成就感や達成感を得たり自己 有用感を高めたりできるように、学級活動 の内容を充実させる。	・自分から挨拶をする児 童の割合 ・授業開始のチャイムが 鳴り終わるまでに席に 着く児童の割合 ・だまって掃除ができる 児童の割合 ・学校に来て友達と一 緒に活動(勉強したり遊 んだり)するのが楽しい と感じる児童の割合	90%						
					90%						
					90%						
					85%						
★ 健 や かな 体	③ 安全教育・健康教 育を推進し、自ら 命を守り、たくま しく生きるための健 康と体力を育て る。	③ 健康・体力の向上	○運動能力を上げる取組 ・サーキットトレーニングによる遊 具遊びを推進して、握力の向上を図 る。 ・くれチャレンジマッチスタジアム ダッシュリレーに継続的に取り組む ことで、走の能力の向上を図る。 ○基本的な生活習慣を確立する取 組 ・早寝・早起き朝ご飯キャンペーン を行うなど、基本的な生活習慣を身 に付けるための声かけを児童及び 保護者に対して継続的に行うこと で、朝の遅刻者の減少を図る。	・新体力テスト(握力、5 0m走)の記録が県平 均の記録以上の児童の 割合 ・朝学校開始時刻に登 校する児童の割合	80%						
					99%						
★ 働 き 方	④ 教職員一人一人 の働き方に対す る意識を醸成し て、働き方改革を 推進する。	④ 児童と向き合う 時間の確保	○日課表の見直し	・子供と向き合う時間が 確保されていると感じる 教職員の割合	80%						
					80%						
		⑤ 長時間勤務の縮減	○学校全体の長時間勤務の縮減 ○健康で生き生きとやりがいをも って勤務できる環境づくりを推進す る。	・時間外勤務が月45時 間以内の教職員の割合	80%						